



駅前の「パークりんりん」には、休憩所や自転車修理設備、リサイクルセンターを設置している。特に自転車修理に関しては、かつて町内で自転車屋を営業していた高齢者の方の力を借りて常時メンテナンスを行っている。また同所は、冬期間の共用自転車保管所にもなる



エリマインの実践現場から

環境にやさしい自転車で「町おこし」



ナビゲーター
ニツ井町役場生活環境課
環境係長

村岡 明正
Akimasa Muraoka

秋田県ニツ井町

「チャリンジャー」で
ニツ井町の良さを実感

自転車は、そのクリーン性から世界的に利用促進が進められており、日本でも国土交通省が「自転車活用のまじまじくり」の推進を図っているなど、まさに「エリマイン」に相応しい乗り物といえよう。

その自転車を「町おこし」に利用しているのが秋田県の北部に位置する「ニツ井町」。背後に世界遺産の白神山地を控える、自然豊かな町だが、日本の地方都市が概ねそ



共用自転車の利用促進を進めるために、既存歩道を拡幅した自転車歩行者道。自転車道は2m、歩行者道は1.5mで整備し、全体で3.5mの自転車歩行者道となっている。また自転車道と歩道は、カラー舗装とインターロッキングブロック舗装されている

「エコライフ」という生活者価値

今回のナビゲーターを務めていただいた村岡さん

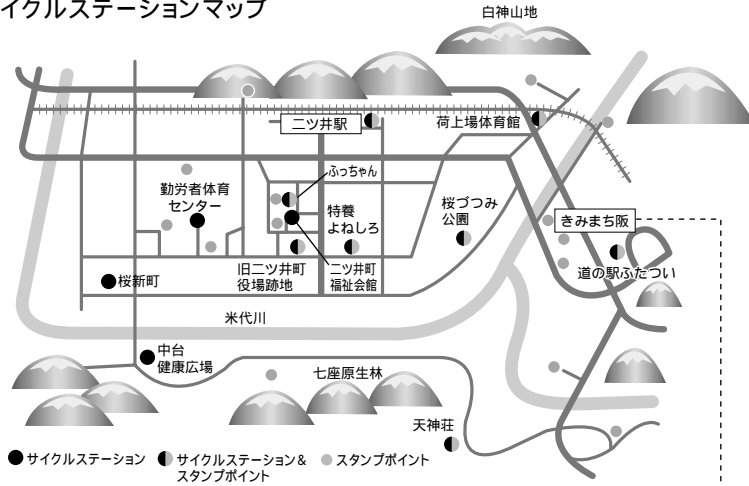


二ツ井町 生活環境課

〒018-3192 秋田県山本郡二ツ井町字上台1-1
 電話:0185-73-5501
 URL:http://www.town.futatsui.akita.jp/

平成14年4月に完成したJR「二ツ井」駅前にある大型自転車駐車場「パークりんりん」

サイクルステーションマップ



自転車の利用時に楽しさを知ってもらうために、町内の名所、旧跡などにポイント看板、スタンプを整備して「サイクリングスタンプラリー」を実施している(地元商店会とタイアップし、ポイントラリー帳を商店会に提出すると、商店会のポイントが貰えるといったイベントも行っている)

二ツ井町のシンボルともいべき「きみまち飯」。明治14年に、ここを訪れた明治天皇に、夏の長旅を気づかう皇后のお手紙がここで天皇をお待ちしていたとのエピソードから、この名が付けられた。昨年度まで10年にわたって「きみまち恋文コンテスト」が開かれたことでも有名



サイクルステーションの1つ。町内には2ヶ所の大型駐輪場(大型サイクルステーション)と10ヶ所のサイクルステーション、10ヶ所の青空サイクルステーションが設けられている



町の中央を流れる米代川は鮎の釣り場として全国的に有名であり、二ツ井町では、この美しい流れを守るために、生活排水対策として「合併処理浄化槽」を全町に普及させている

うであるように、住民の主な移動手段は自動車だという。

「自然を最大の財産としていながら車に依存し、結果として排気ガスを発生させている。それを反省し、可能な範囲でエネルギーを使わない、豊かな自然環境にふさわしい生活を実現するために自転車利用を考えました」と生活環境課の村岡係長は説明する。

同町では平成11年から、共用自転車「チャリンジャー」と命名(として、町内ならば「つらもつ」でもだれでも)自転車に乗れるようにしている(雪のため冬季の貸し出しは休止)。まず、町民が不要とした自転車約八〇台をリサイクル活用する形でスタートし、その後、東京都杉並区から放置自転車約三五〇台を譲り受けた。また、共用自転車の利用促進を高めるために、国土交通省の予算で、自転車専用の道路整備なども行っている。

利用希望者は、町内一〇カ所に設けられたサイクルステーションおよび二カ所にある拠点自転車駐輪場に配備されたチャリンジャーを自由に借りることができ、使った後は、最寄りの駐輪場またはサイクルステーションに返却する(利用は町内限定)。観光客などの利用者にも好評なことから、同町では『環境にやさしい自転車のまちづくり』を足がかりに、今後も、これまでの車依存のライフスタイルを見直し、自転車をシンボルに、地球環境にやさしく、人や身体にやさしいまちづくりを推進していくこと。

(文責・CEL編集部)

CEL